

## 令和元年度第2回学校評議員会会議報告（概略）

- 1 期 日：令和2年2月26日（水）15：00～16：00
- 2 会 場：本校会議室A
- 3 出席者：学校評議員5名、PTA役員2名、学校4名（校長、副校長、事務長、教務主任）
- 4 内 容：学校評価報告書について、  
学校評価、授業評価、進路概況、部活動成績等の資料説明
- 5 意見及び質疑等

### （1）学校評価報告書について

【校長】重点目標、達成指標、達成状況、そして改善方策の説明。

（以下項目抜粋）

#### ア 学習活動の充実と学力向上

学習時間が少ない。学力向上対策として、業者テストの精選と分析、将来無線LANの導入も検討されている。ICT教育の推進を行ってきた。

（改善点） 考査前学習会の廃止と普段の教科指導の工夫と個別指導の充実を図る。

#### イ 自立心をもった活力ある花南生の育成

学校生活全般において、部室の整理整頓、危機管理、ルールの厳守、交通安全指導等、配慮していきたい。

（改善点） 携帯電話、スマートフォンのルールと、有効活用の指導、体育祭時の文化的種目の導入、応援歌練習（校歌・エール）の在り方の検討、総合開会式参加の見直し、自動販売機の販売内容について生徒と話し合う機会をもつ。

#### ウ キャリア教育の充実と進路希望の実現

進路多様校として、有効なガイダンスの企画と運営を行っていきたい。

#### エ 一人ひとりに寄り添うサポート体制

いじめ認知と対応、心の悩みの支援を行った。人間関係のとらえ方の難しさから、アサーショントレーニング等の導入を検討している。

#### キ 防災教育、復興教育の推進

次年度、避難訓練を年1回の実施とする。LHRの有効活用に向け、講師の情報をお寄せ願いたい。

#### ク 教職員集団のチーム力向上、信頼される学校づくり

この項目に課題が残った。今後は、探究学習を核として学校運営の方向性を整理し、魅力ある学校運営を行っていきたい。

## (2) 学校評価・授業評価について

【校長】学校評価アンケートの結果、今年度1年間の課題が示された。

①学校運営に関すること②学習指導について③生徒指導について④進路指導について⑤保健安全指導について⑥その他

対象の生徒、保護者の評価項目は向上しているが、教職員について「(1)学校経営に関すること」の項目が低下している。

授業評価は、どの項目も9割以上の肯定的評価で、全般的に満足度の高い評価が多かった。しかし「授業の中で意見を発表する機会」「生徒自身の計画的な学習」「授業内容の理解度」の項目には課題がある。

## (3) その他（進路概況・部活動成績）

【副校長】

今年度の3学年の進路達成状況の説明。医療系上級学校への進学が目立った。

部活動の戦績説明。運動部：陸上部女子、バスケットボール部、バレーボール部、ソフトテニス部が健闘。

文化部：囲碁将棋部の健闘が光った。

## 質疑・応答・助言

【A委員】授業見学をさせていただき、貴重な体験だった。

Q：ボランティア参加は自主的か。義務でなければ、数の多さに驚いた。

A：地域の団体からの依頼が多く、JRC委員を含め自主的に参加している。

【B委員】

Q：学校評価の未達成状況の判断がわかりにくい。指標の作り方を知りたい。項目「ケ」の昨年の結果はどうだったか。

A：78%だった。先生方の多忙感が解消できなかったことは反省材料である。県の様式変更により、達成状況が「○×」しかなく、どちらかの判断しかないので厳しい結果となった。

【C委員】

Q：ビブリオバトルは本校独自の実施か。百人一首、アサーションスキルなど、部活動の実績向上以外にも対策していてすごいと思った。魅力ある学校づくりに貢献していると感じる。

A：図書への意欲を高め、大会参加も果たしている。

【D委員】

Q：体の弱い生徒への対応が目にとまった。「ごく普通の高校生活をしたい」という環境が感じられる。協力的で、思いやる・やさしさ経験が多くよかった。

A：車いすを要する卒業生がおり、みんなで協力する体制ができてきた。

【E委員】

Q：事故事件がないのは何よりである。いじめ対策会議等、多数行っており、安心出来る学校づくりに寄与している。携帯電話、スマートフォンの対応をお聞きしたい。

A：校内では電源を切り、預かる指導も加えている学年もある。

#### 【B委員】

Q：中学校ではスマートフォンは人権教育の観点で指導しているが、高校ではどうか。

A：業者による情報モラル教育を実施している。

#### 【PTA 会長】

Q：項目「ケ」のチームワークの向上は、一般企業でも難しい。学校として方向性など特に行っていることはあるのか。小学校では褒める教育を実践し成果を上げているというが。

A：会議による話し合う場の設定と職員の多忙化の矛盾が生じている。今後、学校再編計画から外れたことは大きい。新教育課程編成に向け、総合的な探究の時間を核に魅力ある学校づくりに努めたい。

#### 【母親委員】

Q：3年間子どもから、「いじめが見当たらない」を耳にし、ほっとしている。遅くまで部活動に参加している生徒が、帰宅時、歩道からはみ出しや自転車の並走、反射ステッカーのないもの等、事故が心配である。また、企業からDMが届くがどうなっているのか。

A：ガイダンス時に配布されたハガキを生徒個人が発送したと思われる、学校からは行っていない。

#### 【E委員】

交通ルールは生徒たち自身、生徒会、家庭とみんなで働きかけるべきで。

#### 【B委員】

Q：新型コロナウイルス対策を知りたい。中学校と高校での修学旅行などの行事参加の判断に違いはあるのか。県教育委員会の指示はあるのか。

A：県の指示はない、高校は部活動の遠征をはじめ、学校独自の判断で行っていることが多い。

### 4 閉会の言葉【校長・副校長】

指摘された項目、意見、ご助言を再検討し、今後の学校運営に活かしていきたい。